

Quality Management News

《医療の質・安全ニュース》



No. 14 10/7/吉日

医療安全と患者参加



「いろはうた」キャンペーンは6月から開始し、2カ月が経過しました。皆様のご協力により、キャンペーンは順調にすすめられています。

患者参加とは

患者さんに、ご自身の治療に積極的に関わってもらうことです。そのためには、患者さんが医療者に対して、疑問点や不安に思うことを、気軽に質問できる環境づくりが大切です。

また、新しい治療や療養において注意が必要な情報を積極的に、分りやすく伝え、患者さんの視点から協力していただくことで、患者さんと医療者が一緒に安全な医療に取り組むことができます。日々のコミュニケーションがとても大切です。

海外での取り組み

阪大病院の「いろはうた」は、患者さんと医療者とのパートナーシップの形成を目標に取り組んでいます。米国では、日本とは異なり、自己の権利や責任を患者自身に訴えてもらうことが強調された「Speak up! (声に出そう)」キャンペーンが知られています。

<http://www.jointcommission.org/patient-safety/speakup/>

Q: 阪大「いろはうた」の句はどうやってできたの？

A: 多くの句は、職員の皆さんから情報提供していただいているインシデントや、日々の治療、看護の場面から聞かれる声を参考に作られました。

Q: なんで「いろはうた」の「は」、は入れ歯のイラストなの？

A: 義歯をケースに入れなかったために紛失してしまい、入院中に作り直したというケースが経験されているからです。

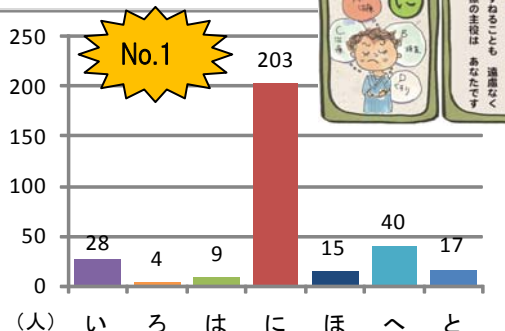
Q: イラストはだれが描いているの？

A: 本キャンペーンは、医療安全を推進するための助成金で行われています。イラストや句は、すべて当部のスタッフの手作りです。

患者さんからの声(アンケートより抜粋)



1番人気のあった句



- 入院中に、「いろはうた」のことを担当の看護師さんから聞き、とてもわかりやすく安心しました。入院前は不安だらけでしたが、なんでも相談できてとてもよかったです。(20歳代・女性)
- 「いろはうた」を通して、大事なことが非常にわかりやすく理解できたと思います。引っ込み思案な私は、「二度三度たずねても大丈夫なのだ」と思うことができ、気が楽になりました。(30歳代、男性)

平成22年度「国公立大学附属病院医療安全セミナー」開催報告

医療におけるノンテクニカルスキルの重要性や教育手法について学ぶ

6月15日(火)から17日(木)の3日間にわたり、全国から199名の参加者を迎え、大阪大学コンベンションセンターにて「国公立大学附属病院医療安全セミナー」(文部科学省後援)を開催しました。

セミナーは、福澤病院長の開催挨拶に始まり、総勢20名の講師による講演やパネルディスカッションを中心に進行しました。今年度の中心的なテーマとして、医療におけるノンテクニカルスキルの重要性や教育の実践について取り上げ、参加者からの反響も大きく、熱心な意見交換が行われました。



高橋りょう子
中央クオリティ
マネジメント部・副部長

「医療安全におけるノンテクニカルスキルの重要性」

チームとして医療を遂行していくためには、臨床を実践するための知識や技能(テクニカルスキル)と同じ位、コミュニケーションやリーダーシップ、チームワークなどのスキル(ノンテクニカルスキル)が重要です。

本講演では、医療事故で妻を亡くした英国のパイロット、Martin Bromiley 氏によるDVD “Just a Routine Operation”(日本語版作成: 当部)を用いて、これまで医療界では大きく取り上げられることのなかったノンテクニカルスキルについて、その重要性を提示し、医療におけるノンテクニカルスキルトレーニングの導入を提案しました。



小林宏之氏
日本航空機操縦士協会副会長
(元日本航空機長)

「航空界のCRM」

航空機事故の70%前後がヒューマンエラーにより発生しているといわれており、エラーを克服し、チームとしての能力を発揮できるマネジメントが求められています。このための技術の一つが CRM(=Crew Resource Management)です。

CRMでは、安全で効率的な業務を達成するために、利用可能な全てのリソースを有効かつ効果的に活用し、メンバーの力を結集、チームの業務遂行能力を向上させることを目指します。

航空業界においては、パイロットや乗務員がCRMに関わる適切な能力を発揮できるよう、専門の訓練・教育プログラムを1980年代から取り入れ、義務化しています。ここでは「状況認識」、「問題解決」、「コミュニケーション」、「効果的なチーム作り」等に代表されるノンテクニカルスキルの強化が体系的に行われています。

ノンテクニカルスキルは、「専門的な知識や技術をうまく回していくための潤滑油」です。テクニカルスキルと併せて業務の両輪となるものであり、教育・訓練次第でいくらでも向上させることが可能です。

「医療における教育手法について」手法紹介・パネルディスカッション

座長: 任和子氏(京都大学病院), 中島和江(中央クオリティマネジメント部)

演者: 中村京太氏(横浜市立大学附属病院), 森本剛氏(京都大学大学院),
中島伸氏(国立病院機構大阪医療センター), 米井昭智氏(倉敷中央病院)



医療におけるノンテクニカルスキルの教育の可能性について、小林宏之氏を交えてディスカッションを行いました。

参加者アンケートより

- 今回の航空業界の話のように他業種で取り入れている安全対策の話をもっとよいヒントになるのではないかと思います。
- ノンテクニカルスキルの教育に今後取り組みたいと考えました。 ・など多数のご意見がありました。

～事務部の方々はじめ、運営にご協力いただきました皆様へ御礼申し上げます～